

「意味がないと
分かっている人生を
生き続ける自信が、
私にはない。」



ある高校生の悩み

「意味がないと分かっている人生を生き続ける自信が、私にはない。」
これは、ある1人の高校生が、自身の詩の中につづった言葉です。
彼が言おうとしたことはこうでした。「毎日、同じことの繰り返しなのに…。
多くの人が暇つぶしの人生を送っているのに…。どうせ死んでしまうの
に…。なぜ一生懸命に生きていかなければいけないのか。」

これは、彼だけの特別な悩みでしょうか？ いいえ、そうではないと思います。なぜなら、多くの人が自分の存在の目的を見つけられず、人生に虚しさを感じ、自らの命を絶っているからです。この日本でも、年間の自殺者は毎年2万人を越えています（1日あたり57人以上）。また自殺未遂も含めると、その数は10倍になるとも言われています。もはや

「生きていればいいこともある」とか「家族が悲しむ」というようなことばでは歯止めが効かないのです。なぜなら「存在の目的」という根本的な答えを与えてはいないからです。

存在の目的

さて、もし人間が偶然存在し始めたとするなら「存在の目的」など最初からないということになります。すなわち、たまたま発生した微生物が、偶然に高度なものへと進化して人間となったのなら、いなくてもどちらでもよい存在ということになるのです。

しかし、人間の体を見れば、実に素晴らしい仕組みや機能があることがわかります。これは、偶然や進化では説明できません。車やコンピューターに当然メーカーがあるように、さらによくできている人間の体には、さらに優れた知恵をもったメーカー（造り主）が存在するのです。その造り主こそ天と地をお造りになられた真の神様です。ですから、「存在の目的」は造り主である神様に聞けば良いのです。

神のことばである聖書には、「**神は人をご自身のかたちとして創造された。**」（創世記1:27）と書かれています。神様は、ご自身がご人格（知性、感情、意志）をもっておられるように、人間も人格をもつ者として造られました。それは神様の愛を知り、喜び、その愛に応えて生きるためなのです。この神様との愛の関係をもって生きることこそが、人間の「存在の目的」であり、人間にとっての本当の幸せなのです。



神様から離れた人間

ところが、人間は造り主である神様との関係を受け入れず、無視し、自分勝手に生きています。当然、神様抜きの人生に「生きる理由」も「本当の幸せ」も見つけることはできません。そして、さらに大きな問

題は、この神様を無視する生き方こそ、神様に対する「罪」だということなのです。

神様は正しい義なるお方であられるので、神様から離れて生き続ける罪人を必ずおさばきになられます。罪人は死んだ後、永遠の火による刑罰の場所である地獄に行かなければならないのです。そこで、神様を捨てたことの報いとして、神様から永遠に捨てられ苦しまなければならないのです。虚しい人生を送り、最後には地獄で苦しむことになるとはなんとという悲劇でしょうか。

神様に立ち返る

しかし、神様は私たち人間を愛して下さり、救いを用意して下さいました。それが、イエス・キリストによる救いです。今から、約2000年前にイエス様は十字架に両手両足を釘付けにされ、尊い血を流して死なれました。それはまさに神様から離れて生きていた私たち罪人のためであったのです。私たちが地獄で受けるべき恐ろしい刑罰を、イエス様がすべて身代わりに受けて下さったのです。さらに、神様はこのイエス様を死後3日目によみがえらせて、救い主であることを明らかに示して下さいました。そして、この方を信じる者は誰でも罪が赦されて、神様の子どもとされ、地獄ではなく天国に入ることができるという約束が与えられているのです。神様の子どもとされ、永遠に神様と共に生きる者とされることが、造られた本来の目的に帰ることなのです。ここに本当の幸せがあります。



あなたも罪を悔い改め、イエス様を信じて、神様に立ち返る方となって下さい。そして、神様のご愛に感謝して、**「先祖伝来のおなしい生き方から贖い出されたのは、…傷もなく汚れもない子羊のようなキリストの、尊い血によったのです」**（Iペテロ 1:18～19）と言える方となって下さい。